

竹原市立竹原西小学校

〒725-0021 竹原市竹原町2440番地 電話0846-22-0946
ホームページアドレス takenishi@ceres.ocn.ne.jp

校長 仲 尚美

児童数 392名 教職員数 29名

学校紹介 本校は、安芸の小京都と呼ばれる竹原市のほぼ中心に位置し、学校のすぐ東側を賀茂川が流れ周囲をブドウ畠や住宅地に囲まれた落ち着いた環境にある。平成19年度、文部科学省指定「地域に根ざした学校給食推進事業」実践校として、研究主題である「豊かな心情を育み健康な体をつくる食習慣の形成」を取り組んでいる。

■食育を通して目指す子ども像

かしこく

やさしく

たくましく

さんしょく（植触・食・職）

植えて、触って・食べて・生きる力につなげよう。

児童につけたい力

- 栽培活動を通して、食事に関心をもち、栄養のバランスのよい食事をする。
- 地域や旬の産物を理解し、生産者に感謝する心を育てるとともに、食文化を尊重する心を育てる。

（低学年）

地域や旬の産物に触れ、好き嫌いなく食べる意欲を育てる。

（中学年）

地域や旬の産物を理解し、生産等に関わる人に感謝する心を育てる。

（高学年）

地域や旬の産物を理解し、食生活に生かす心を育てるとともに、食文化を尊重する心を育てる。

■取組みの内容

1 日常的な活動

- さんしょく活動(全学年栽培活動実施)【解説1】
- 給食の時間における活動
- 給食放送委員会活動

2 教科等における指導

- 教科等における食に関する指導
- 生活科における食に関する指導
- 総合的な学習の時間における食に関する指導

3 地域・生産者との連携

- 生産者との連携・農協・行政との連携【解説2】
- 料理教室の開催

4 家庭との連携

- PTA活動方針(よく学び・よく食べ・よく遊び)【解説3】
- さんしょくだよりの発行
- 食育講演会の実施
- 試食会の開催
- PTC活動



学校・家庭・地域が連携し取り組んだ結果、次のような成果が見られた。

- 地場産物の活用率が上昇
31.3%【目標値 28%】
(※平成19年度4月～1月の平均値)
- 残食率の減少
1.4%【目標値 5%以下】
(※平成19年度5月～1月の平均値)
- 保護者の食への興味関心の向上
「食の行事に参加した」
31% (平成19年 7月)
38%↑ (平成19年 11月)

■学校からのひと言

解説 1

全学年で栽培活動を実施

さんしょく活動 ~地域とともに~

児童は、地域ボランティアの方と交流をしながら栽培活動をした。栽培活動を通して、作物を大切に育てる気持ちや作物に触れることで感謝の気持ちややさしさを持つようになってきた。

収穫した作物は給食をはじめ、教科指導や特別活動、行事などに活用した。

【児童の川柳】

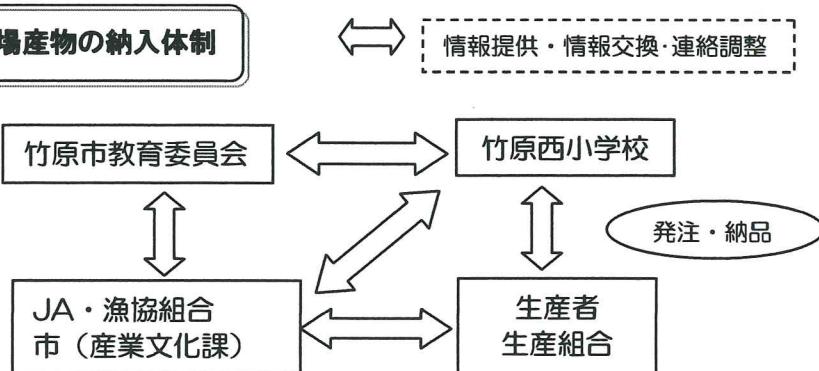
- かぶのたね はようあまく あまくなれ
- 感謝する 生き物たちへ 食べ物へ



解説 2

地場産物の納入体制の整備

地場産物の納入体制



地場産物の納入体制を整備し、学校給食に効率よく活用できるように取り組んだ。整備のため生産者・生産組合・JA・漁協組合・行政の関係者と意見交流をした。学校は食材の種類や量、生産者等は地場産物の種類や量について情報交換することで、地場産物の活用率を高めることができた。

解説 3

PTA と学校が連携した家庭への啓発

PTAの取組み ~竹西親子のコミュニケーションづくり~

PTA と学校が連携し、旬の食材や地場産物への興味関心を高め、家庭で食生活に生かすための啓発活動を行った。

OPTC 活動（学校菜園で育てた旬の野菜を使って親子で料理）

○料理教室（旬の食材や地場産物を取り入れた料理）

○レシピ集の作成（保護者から寄せられた旬の食材や地場産物を取り入れた料理を季節ごとに紹介）

○食についてのアンケートを 2 回実施

（子どもとともに料理すると答えた
保護者の増加）

今後も、食に関する行事を計画し、保護者への啓発を継続する。

